

プレート運動の分類と日本海拡大時の全地球プレート運動

Classification of Plate Motion and Global Plate Motion relating to the Japan Sea Opening

新妻 信明[1]

Nobuaki Niitsuma[1]

[1] 静岡大・理・地球科学

[1] Inst. Geosci., Shizuoka Univ.

プレート運動は、プレートテクトニクス登場以来、オイラー極を用いて記述されてきたことから、プレート運動が最も大きいオイラー赤道についての関心が薄かった。プレート境界をオイラー赤道が通過するプレート運動を「自律」プレート運動、通過しない場合は「随行」プレート運動と呼ぶ分類法を提唱する。自律プレートの典型として太平洋プレート、随行プレートの典型としてフィリピン海プレートを上げることができる。

プレートテクトニクスに基づくと、日本列島を誕生させた日本海拡大は、フィリピン・インドネシア域が主導していたと考えられる。最近のカラコルム断層についての年代測定によると、大規模な横ずれ運動が日本海拡大の時期に当たっていることが明かになり、インド・オーストラリアプレートとユーラシア・アムールプレートにも影響を与えていることが示唆される。南米のペルーにおいても堆積物の急変が対応していることから、全地球規模のプレート運動大変動の顕著な現象として日本海拡大を位置付けることが可能である。